



## 結果

### ○ 生徒の評価が 高かった 項目

1. 私は学校の規則に従い、身だしなみを整えている。
2. 学校生活の中で、他者の人権を大切にすることを心がけている。

### ● 生徒の評価が 低かった 項目

1. 私は学校の図書館を利用している。
2. 私は「図書館だより」等を通じて図書館の活動について知っている。

### ○ 保護者の評価が 高かった 項目

1. 校長は学校経営に関して明確なビジョンを持ち、リーダーシップを発揮している。
2. 子供は学校の図書館を利用している。

### ● 保護者の評価が 低かった 項目

1. 学校は「図書館だより」等を通じて、図書館の広報活動をしっかり行っている。
2. 学校の教育相談体制は充実している。

## その他 気になる 項目

1. 教員は授業改善に努め、指導方法等の工夫に努めている。 **72.6%**  
(保護者アンケートより)
2. 悩み等についての相談を先生にすることが出来る。 **36.2%**  
(生徒アンケートより)
3. わたしは授業の予習・復習・検定の勉強等、自主学習に励んでいる。 **39.7%**  
(生徒アンケートより)

## 分析

- 多くの生徒が授業に集中して取り組んでいると答えている反面、予習・復習・検定の勉強等、自主学習については十分に出来ていないと答えている。
- 生徒、保護者とも、学校の身だしなみ指導等については、一定の理解を得ている。
- 約40%の生徒が、授業がわかりにくいと感じている。
- 図書館利用については、今年度も重点課題として取り組んだがまだ満足のいく成果が出ていない。「図書館だより」等を通じて広報活動に努めてきたが、生徒・保護者ともに、あまり理解されていない。

このような結果を受けて、学校としては

- ①自分の行動に責任を持ち、実生活・実社会で主体的に生きていくために必要な力を備えた生徒を育てるために、まずは職業人としての基礎・基本をしっかりと定着させることを目指し、学業はもちろん、挨拶や言葉遣い、身だしなみ等の指導にも引き続き学校全体で取り組む。
- ②授業改善と授業力向上にむけて、今年度に引き続き年2回研究授業週間を設けること、また保護者への授業公開を実施するなど教員の意識を高める取り組みを行う。
- ③図書館を有効に活用するために、図書館だよりの発行や読書週間を継続し、さらに図書館オリエンテーションの実施や平素の授業における調べ学習等で図書館を積極的に利用し、生徒が図書館へ足を運ぶ機会をさらに増やす。また、ホームページでも図書館や図書委員の活動を積極的に発信する。

この3点を次年度の重点項目とする方向で考えている。